

# あわら 市議会だより



9月定例会報告	2p
委員会報告	3p
一般質問	6p
陳情・請願・意見書	10p
議案と結果	11p
議会日誌・ふるさと探訪	12p

今、躍動の瞬間<sup>とき</sup> (市民体育祭 10月2日)

No. 30

平成23年10月14日 発行

# 9月定例会

## 平成23年度一般会計補正予算(第2号)

# 2億2,104万5千円を増額!



本荘幼稚園 運動会(9月24日)

- 一般会計予算総額は127億7,247万7千円に
- 決算審査特別委員会を設置  
委員長 吉田 太一  
副委員長 杉本 隆洋  
委員 山田 重喜、八木 秀雄、笹原 幸信、山川 知一郎、牧田 孝男、卯目ひろみ
- 副市長 北島善雄氏の再任に同意
- 新給食センター 不動産鑑定及び用地測量へ
- 教育委員会関係施設(公民館、体育館等)の使用料改正へ

平成23年9月定例会が9月5日から22日までの会期で開催されました。  
 今定例会では、専決処分及び健全化判断比率等の報告に関する3議案を受理し、決算の認定12議案、補正予算に関する4議案、条例の改正及び制定に関する5議案、住居表示に関する1議案、副市長の選任に関する1議案の計23議案が上程され、決算の認定を除く11議案はすべて原案のとおり可決しました。決算の認定については、決算審査特別委員会において審査することから、継続審査となりました。  
 また、今回は6名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。その他、議員発議による意見書2件を可決しました。

# 総務文教常任委員会 報告

## 平成23年度 一般会計補正予算

### ■総務課

#### 災害支援費

100万円

委員 東日本大震災の被災地支援について、歳入の財源に缶バッジの売上げ金を充当しているが、2千個の完売は可能か。  
 理事者 現在、250個の在庫があるが、今後、各種イベントなどで販売促進に努力したい。



缶バッジ

### ■政策課

#### ふるさと納税

記念品 15万円

委員 寄付金が1万円を越えた場合、5千円の記念品を贈っているが、寄付金が小口化する状況が踏まえると金額は妥当か。  
 理事者 要綱に基づいて記念品を贈っている。今後の状況を見ながら検討したい。

#### 広告掲載料 30万円

委員 雑誌「福楽」に市のPRを掲載することになつてはいるが、その雑誌選定の理由は何か。  
 理事者 「福楽」を発行している会社の方針がしっかりしており、紙質などもよく保存するのに適しているためである。

### ■教育総務課

#### 備品購入費

160万円

委員 三つの小学校の教室暖房に、ブルーヒーターを購入することになっているが、安心・安全の面から集中暖房が良いのではないか。



ブルーヒーター

### ■総務課

#### 学校給食センター整備費

1千597万円

委員 センター建設地を、春宮地係の場所を選定したが、過去に水害に見舞われている。また、地盤も軟弱と聞いているが、その対策をどう考えているのか。  
 理事者 竹田川の改修、龍ヶ鼻ダムの建設など周辺整備が進み、以前のよくな水害に見舞われることはないと考えている。また、建設に当たっては、地盤改良や地盛りを行うなど、安全面に配慮していきたい。

### ■総務課

#### 防犯隊設置条例の全部を改正する条例の制定

委員 消防団員との兼務化をなくし、防犯隊員の専務化を進めるとのことだが、報酬が安く、また、隊員の募集も難しいのではないか。  
 理事者 報酬は、県内の状況を参考に現役の防犯隊員とも協議して設定した。  
 また、兼務化を禁止するのではなく、今後区長や消防団OBの方々と相談しながら募集に努力していきたい。



防犯隊 駅内パトロール

### ■教育委員会

#### 小中学校施設の利用に関する条例等の一部を改正する条例の制定

委員 教育委員会所管の施設について、使用料の適正化を行い、時間単位により使用料を徴収することになっているが、社会教育の推進に逆行するのではないか。  
 また、減免適用の基準について、見直す考えはないのか。  
 理事者 各施設の使用料金体系が異なっていることから、料金の適正化を図ると共に受益者負担の公平性を保つための改正である。  
 また、減免適用基準については、今後の運用面で十分に対応していきたいと考えている。



被災地にスイカを届け隊

# 厚生経済常任委員会 報告

## 平成23年度 一般会計補正予算

### 子育て支援課

**病児病後児利用者負担金 17万1千円減入減**

委員 保育園児等が病気になる、指定医療機関にあずける場合、今まで利用者には、負担金をあわら市に納めていたが、医療機関に直接納めるように変更するのはなぜか。

理事者 近年、自治体の枠を超えた広域利用が増加している。あわら市では、利用者が負担金を市に納めてもらっていたが、他市では、医療機関に負担金を納める方法が主流である。よって、他市との統一を図り、利用者負担金を医療機関に納めることに改めた。

**児童扶養手当支給費 750万円追加**

委員 支給費が増えているのは、対象児童が増加しているためか。

また、母子家庭等の実態をどのように確認しているのか。

理事者 対象児童は昨年比で約10%増加している。

実態の把握は、民生委員にお願いしている。

### 健康長寿課

**市民後見推進事業委託料 500万8千円**

委員 事業内容はどのようなになっているのか。

理事者 身内がない認知症の方等に成年後見

人を付ける場合は、通常裁判所が弁護士や社会福祉士を選任する。しかし、受け皿が一杯の状態である。そのため、一般市民の方を後見人として養成するためのモデル事業を社会福祉協議会に委託する。

### 農林水産課

**劔岳かりんて祭 開催補助金(第30回記念行事分) 20万円**

委員 ほかの祭りでも周年記念の場合、特別枠で補助を行うのか。

理事者 かりんて祭は、農業に特化した収穫を祝う祭のため、補助を行っている。過去には、観光商工課所管である開湯20周年などの場合も、

### 建設課

**芦原温泉駅前 にぎわい交流広場整備事業(既存倉庫耐震調査委託料) 140万円**

委員 今後のスケジュールはどうなっているのか。

理事者 12月末までに調査結果が出ると思う。利用については、平成24年度で整備内容を詰め、25年度で整備したいと考えている。



劔岳かりんて祭

特別枠で補助を行っている。

**あわら温泉 湯のまち広場条例の制定について**

### 観光商工課

委員 来年度以降の公園管理方法について、最初から指定管理者を特定するのではなく、プロポーザル方式によりコンペを行い、管理者を決定してどうか。

理事者 にぎわい創出のためには、地元の団体に広場を使ってもらう仕掛けが必要である。そのことが観光資源になると考えている。よって、あわら市観光協会にその役割を担ってほしい。



あわら温泉湯のまち広場

### 議案外の意見

#### 市民生活課

#### デマンド交通

委員 登録や予約方法、乗降場所、料金など、もっと使い勝手の良いものに改善すべきではないか。

理事者 タクシーを利用するが中身は公共交通のバスである。公共交通のため、乗合い方式や停留所方式は変更できない。ターミナルを廃止したところや、停留所を増やすことでコミュニティバスより使い勝手の良いものにと考えている。



コミュニティバス

# 特別委員会 報告

## 中心市街地活性化調査特別委員会

9月7日に委員会再編後の第一回目の委員会を開催しました。

当日は、現場を見ながら実施したいということと、あわら温泉湯のまち広場内の伝統芸能館において会議を行いました。



9月7日の委員会

会議では、湯のまち広場のベンチ、植栽、今後の管理方法に至るまで、さまざまな意見がありました。また、「本陣飾り物」

## 環境対策調査特別委員会

9月7日に委員会再編後の第一回目の委員会を開催しました。

会議では、土砂採取に ついて、改善命令や法令を遵守しない業者がいるため、監督官庁である県の職員に委員会への出席を求め、との意見がありました。



金津祭り 本陣飾り物

なお、今後の委員会の進め方は、大きな視点に立ち、将来のビジョンを考えるべき、残された期間は2年間しかない、テーマを絞って審議すべきなどの意見がありました。このような意見を踏まえ、今後の委員会で調査研究していきたいと考えています。



土砂採取場(北潟地係)

また、北潟湖の水質については、水質検査をするだけでなく、あらゆる角度から分析が必要であ

## 議会活性化特別委員会

6月定例会で設置された当委員会は、議会基本条例を制定するため、9月末までに6回の委員会を開催しました。

委員会は、先進自治体の基本条例を基に第一条から一つずつ検討しています。

手探りで協議しているため、不明な点も多いため、9月8日に開催した第5回目の委員会は、福井県町村議会議長会の伊藤氏をアドバイザーに迎え、助言をいただきました。

なお、10月下旬には、議会改革で全国トップクラスである京都府の京丹後市と三重県の伊賀市を視察する予定です。会議は全面公開しており、結果については、随



北潟湖

そのほか、今まで調査していなかった小規模の焼却炉施設も、今後監視体制に加えるべきとの意見がありました。

これら意見を基に、今後の委員会を開催したいと考えています。



9月8日の委員会

# 市政について問う!

9月の定例会では、6名の議員による一般質問が行われました。ここでは、質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)



■吉田 太一 議員  
●コミュニティバスについて  
●再生可能エネルギーについて



■森 之嗣 議員  
●「若い世代が住んで生んで育てたくなるまち」の実現に向けた具体的施策について



■八木 秀雄 議員  
●あわら北潟風力発電について



■牧田 孝男 議員  
●あわら市内の小中学校の教育環境状況について



■山川 知一郎 議員  
●生活保護について  
●コミュニティバスに代わる公共交通について  
●有害鳥獣対策について



■杉本 隆洋 議員  
●あわら市エコ市民会議の活動状況と将来の展望について



吉田 太一 議員

## 「コミュニティバスはどくなるのか!」

吉田 現在の「コミュニティバス」に代わり、来年4月から始まる市独自のデマンド交通方式について、進捗状況はどうなっているのか。

### 市民福祉部理事

利用者の予約に応じて相乗りタクシーを運行します。市内を「北部丘陵地」「東部中山間地」「南部平坦地」の3ブロックに分割し、ブロック内運行を行います。

ただし、二つの旧町市街地や余熱館ささおか、金津創作の森、トリムパークかなづは、どのブ

ロックからでも利用できるようにします。

料金は、エリア内の移動1回につき、1人乗車の場合は、一般が八百円、65歳以上が六百円。複数乗車の場合、一般が四百円、65歳以上が三百円となります。

## 再生可能エネルギー導入に対する考えは!

吉田 市の再生可能エネルギーの導入についてどのように考えるのか。

### 市長

北潟地区の風力発電「あわら夢ぐるま」1基あたりの最大出力は2千キロワットで、フル稼働したとして発生電力量は年間約3千840万キロワットとなり、約1万1千世帯分の年

間消費電力量に相当します。

今後さらなる風力発電施設増設の可能性を事業者に照会しました。市内では風力発電が事業として成立するのは、海岸区域に限られるとのこと。よって、残された地域は自然公園区域であったり、人家が極端に近かったりするため、これ以上の増設の可能性は低いとのことであります。

このほか、間伐材を加工した木質ペレットによるバイオマスなども再生可能エネルギーとして利用できると思いますが、実現に当たっては、今後さらなる研究が必要であると考えています。



あわら夢ぐるま



森 之嗣 議員

## 「若い世代が住んで生んで育てたくなるまち」とは!

森 新採用職員のおわら市居住を推奨してはどうか。

また、商店街のにぎわい創りを目的とした新たな制度の創出や、規制緩和をする考えはないか。

### 市長

新規職員は4年間で38人採用しています。

このうち、採用時、28人が市内に居住しており、残る10人が市外居住でした。ただし、市外居住者

10人のうち4人は、採用後市内に転入しており、現在は32人、84%の職員が市内に居住しています。

憲法は「居住、移転の自由」「職業選択の自由」を保障しており、雇用する側が差別のない公正な採用選考を行うことが必要不可欠です。

本市の職員採用に当たっては、応募者に広く門戸を開き、適性、能力を合理的、総合的に判断して採用を行うよう努めています。

なお、採用後の本市への居住の推奨については、本人の意向等も踏まえ、適宜対応したいと考えています。

にぎわい創りにについては、制度を創設するにしても、義務を緩和す

るにしても、商店街を支える人材の育成や商店個々のスキルアップといった実践的課題へと帰結します。

そのためには、事業者の意欲と情熱、さらには準備期間が必要で、現在実施している支援を利用しやすく、より効果があるものになるよう改善を重ねます。

また、地域の事業者や住民と話し合い、効果を検証しながら検討していきたいと考えています。



JR芦原温泉駅前



### 風力発電を どう活用 するのか！

**八木 秀雄** 議員  
八木 風力発電への観光客が、地域の農業者や住民に迷惑をかけていないか。また、観光にどのようにつなげているのか。



農産物直売所「風羽里(ふわり)」

(ふわり)です。国道305号をはじめ地区内の主要交差点に誘導看板を設置しました。このことにより観光客の多くは、「風羽里」に誘導され、他の農地への影響は最小限に抑えられていると思えます。

**市長** 当該地は、きわめて優良な畑作地帯にあり、施設の建設当初から観光客が農道へ進入することなど、農作業に支障が生じることが予想されていました。このため、観光客をなるべく一箇所に誘導しようとして設置したが農産物直売所「風羽里」

一方で、「風羽里」へのアクセス道路が未舗装で狭いことから、観光客の皆さんにご不便を強いています。また、周辺の農業者の皆さん等に車両の集中によりご迷惑をお掛けしているのではないかと考えています。



あわら夢ぐるま

「風羽里」への主要なアクセス道路となる「県道北潟平山線」は、本市の要望を受けて、現在県において急ピッチで改良工事を進めています。市としても、この改良工事に併せて、付近農道の改良を進め、観光客や地元の方にも迷惑をお掛けしないようにしたいと考えています。また、「あわら夢ぐるま」を新しい観光資源として位置づけ、観光ポスターやパンフレットなどで紹介しています。今後も市のエコと観光の新しいシンボルとしてPRしていきたいと考えています。



### 全国学力・学習 状況調査を今後も 実施するのか！

**牧田 孝男** 議員  
牧田 全国学力学習状況調査に対して、市教育委員会の考えは。また、調査が任意実施となるため、全国一斉でなくなるが、どのように考えるのか。

なお、今年も猛暑が続いたが、教室の冷房対策はどう考えるのか。

**教育長** 全員参加の調査を希望し、各学校の調査結果の分析をもとに指導改善などに役立てるよう取り組んでいます。



芦原中学校

金津中学校

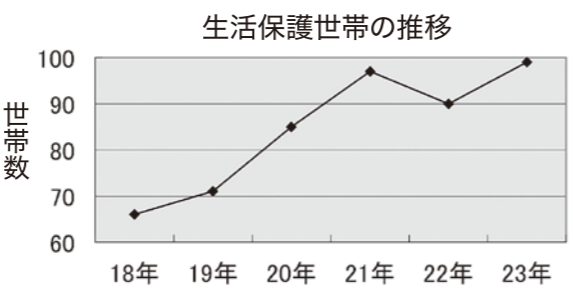
この調査は、順位を競う調査ではなく、あくまでも、児童生徒一人ひとりの習熟度を把握し、弱点などの分析を行い、指導改善につなげるためのものであります。そのため、市においては、全数調査及び事後の結果分析を十分行っているため、その目的は達成しているものと判断しています。市内小中学校の普通教室には冷房機の設置はありません。また、県内他市の普通教室への冷房機設置状況は、小中学校では福井市の旧清水町4小学校で設置されており、他では

設置されていません。今後は、温暖化が進むことも予想されることから、市においても、検討課題の一つと認識しています。



### 生活保護支給の 実態は！

**山川 知** 市における生活保護世帯数の推移はどうなっているのか。



とともに、適正な保護行政に努めていきます。

**市民福祉部長** 市の生活保護の状況については、次のグラフのとおり大幅に増加しています。今後も雇用環境の悪化や高齢化により、さらに増えていくもの予想されます。

なお、平成22年度の生活保護費は、決算額で2億3千万円、このうち市の負担額は5千500万円になっています。不正受給には十分チェック機能を働かせる

**市民福祉部理事** 秋に向けて住民説明会を区長、商工会等を実施し

**デマンド交通の  
説明会は！**  
山川知 住民説明会をどのように考えているのか。  
また、住民の意見を  
取り入れるべきではないか。

市民の意見を取り入れることについては、今後検討していきます。また、県内です。市民の意見を取り入れることについては、今後検討していきます。

### 鳥獣被害を 根絶せよ！

**山川 知** 有害鳥獣被害根絶のための更なる施策と地元への助成が必要と考えるがどうか。

### 経済産業部長 被害

集落の経済的負担軽減のため、県内で初めて捕獲用のエサ経費などに対する「イノシシ捕獲促進事業補助金」を創設し、補正予算65万7千円を計上しています。

また、県に対して支援拡大と捕殺されたイノシシを処分する広域的な焼却施設の整備を働き掛けています。



### Eco市民会議の 役割は！

**杉本** あわら市Eco市民会議の役割をどのように考えているのか。

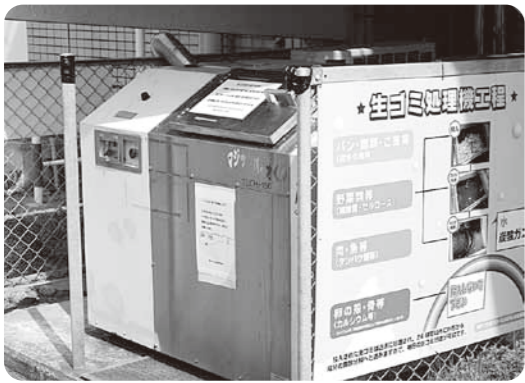
また、生ごみの減量化に将来、どのように取り組んでいくのか。



グリーンカーテン(市役所)

図られるよう、市としても共に手を携えていきたいと思います。また、生ごみ減量化のモデル事業として、市役所と八木旅館に生ごみ処理機を設置し、生ごみ減量化に向けた取り組みを実践しています。

**市民福祉部理事** 市民一人ひとりが出来ることから実践し、この美しい自然環境を守り育てていくため、Eco市民会議が設立されました。この活動を通じて、地球環境問題等を身近なこととして捉えてもらい、市民全体の環境意識の高揚や、環境関連団体のネットワーク化が



生ごみ処理機(市役所)

～・～・～ 議案と結果 ～・～・～

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
<b>【9月5日提出・同日議決】</b>			
議案第48号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	-	受理
議案第49号	平成22年度あわら市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査
議案第50号	平成22年度あわら市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査
議案第51号	平成22年度あわら市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査
議案第52号	平成22年度あわら市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査
議案第53号	平成22年度あわら市産業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査
議案第54号	平成22年度あわら市農業者労働災害共済特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査
議案第55号	平成22年度あわら市モーターボート競走特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査
議案第56号	平成22年度あわら市公共下水道事業会計決算の認定について	決算審査	継続審査
議案第57号	平成22年度あわら市水道事業会計決算の認定について	決算審査	継続審査
議案第58号	平成22年度あわら市工業用水道事業会計決算の認定について	決算審査	継続審査
議案第59号	平成22年度あわら市農業集落排水事業会計決算の認定について	決算審査	継続審査
議案第60号	平成22年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計決算の認定について	決算審査	継続審査
議案第61号	平成22年度あわら市健全化判断比率及び各公営企業に係る資金不足比率の報告について	-	受理
議案第62号	平成22年度芦原温泉上水道財産区水道事業に係る資金不足比率の報告について	-	受理
議案第73号	あわら市副市長の選任について	-	同意(多数)

**【9月5日提出・22日議決】**

議案第63号	平成23年度あわら市一般会計補正予算（第2号）	総務文教 厚生経済	可決(多数)
議案第64号	平成23年度あわら市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	厚生経済	可決
議案第65号	平成23年度あわら市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	厚生経済	可決
議案第66号	平成23年度あわら市水道事業会計補正予算（第1号）	厚生経済	可決
議案第67号	あわら市暴力団排除条例の制定について	総務文教	可決
議案第68号	あわら温泉湯のまち広場条例の制定について	厚生経済	可決
議案第69号	あわら市防犯隊設置条例の全部を改正する条例の制定について	総務文教	可決
議案第70号	あわら市税条例等の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決
議案第71号	あわら市小中学校施設の利用に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決(多数)
議案第72号	字の区域及び名称の変更について	総務文教	可決

**【9月22日提出・同日議決】**

発議第 3号	地方財政の充実・強化を求める意見書	総務文教	可決
発議第 4号	安心・安全な地域社会づくりと農業の発展に向けた意見書	厚生経済	可決(多数)

請願・陳情・意見書

※地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

●安心・安全な地域社会づくりと農業の発展に向けた要請

「要旨」

農業者が安心・安全に営農活動を維持し、地域農業を発展していくため、特段の取り組みを求めます。

「提出者」

・花咲ふくい農業協同組合 代表理事組合長 前田重一  
・農政連坂井支部 支部長 道見英夫

「結果」

意見書を提出

「提出先」

内閣総理大臣、内閣官房長官、農林水産大臣、財務大臣、経済産業大臣



イノシシ捕獲

●あわら市農業対策に関する各種要請

「要旨」

- ①有害野鳥対策について
- ②小動物害対策について
- ③稲カメムシ防除等害虫絶滅について
- ④農業用ビニール等の廃棄物処理について
- ⑤園芸・畜産の活性化と振興について

「提出者」

・花咲ふくい農業協同組合 代表理事組合長 前田重一  
・農政連坂井支部 支部長 道見英夫



金網固定柵(熊坂地係)

「結果」  
厚生経済常任委員会より、市の農業政策に関する事なので、市に対して積極的に取り組むよう要望しました。

●地方財政の充実・強化を求める意見書採択について

「要旨」

平成24年度の地方財政予算全体の安定確保に向けた対策を求めます。

「提出者」

自治労福井県本部執行委員長 酒井里巳

「結果」

意見書を提出

「提出先」

内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、内閣府特命担当大臣（経済財政政策担当）、経済産業大臣

その他、要望書が提出されていますので、件名のみ掲載します。

●本荘公民館建替についての要望書

「提出者」

本荘地区区長会

●下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理等の合理化に関する特例措置法の適用推進についての要望書

「提出者」

福井県環境保全協会



本荘公民館

●小・中学生全国大会等出場に係る補助についての要望書

「提出者」

金津卓球スポーツ少年団

議会日誌

- 7月11日 総務文教常任委員会協議会  
議会活性化特別委員会
- 21日 厚生経済常任委員会管内視察
- 25日 総務文教常任委員会協議会
- 28日 総務文教常任委員会管内視察
- 29日 議会活性化特別委員会
- 8月11日 議会活性化特別委員会
- 29日 議会運営委員会
- 30日 全員協議会
- 31日 議会活性化特別委員会
- 9月5日 第55回議会定例会開会
- 7日 環境対策調査特別委員会  
中心市街地活性化調査  
特別委員会
- 8日 議会活性化特別委員会
- 12日 第55回議会定例会一般質問
- 13日 総務文教常任委員会
- 14日 総務文教常任委員会
- 15日 厚生経済常任委員会
- 16日 厚生経済常任委員会
- 21日 議会運営委員会
- 22日 全員協議会
- 27日 第55回議会定例会閉会
- 28日 議会活性化特別委員会
- 10月3日 広報編集特別委員会  
議会活性化特別委員会  
総務文教常任委員会協議会
- 4日 広報編集特別委員会

※おもな会議のみ掲載

ふるさと探訪 「仲士組合顕彰の碑」

あわら市新富地係(若桜駐車場東側)の路傍に、金津仲士組合顕彰の石碑が建っています。この石碑は明治34年7月に建てられました。114年前に建てられたものなので、文字の風化が激しくほとんど判読不可能です。しかし、近在の歴史愛好家のひとたちに見てもらい、あるいはご意見を伺った結果、おおよそ以下の通りであることがわかりました。



石碑正面上段の表題(篆刻文字)は「金津仲士組創立総会の碑」と読めるとのことです。正面下段の細かい文字は、右端一行だけが判読可能で「明治三十年秋九月鉄路竣工汽車始通爾來氣運一變千里此…」と書いてあります。石碑背面上段に組合幹部たちの名前が、下部には仲士たちの名前が刻まれています。

江戸期から三国-金津間の物資輸送は、竹田川の水運に頼ってきました。そして明治30年に北陸本線金津駅が完成すると、鉄路が細呂木街道や大関街道にとって変わり陸路輸送の中心となりました。そこで金津仲士たちが川から陸揚げされた物資を列車に運び込むなど、組合の担う役割はますます大きくなったのです。その組合を顕彰したのがこの石碑です。

しかし、建碑後の明治44年に国鉄支線の金津-三国線が開通すると、竹田川水運は急速にすたれていきます。そして昭和47年には、その金津-三国線も廃線となるのですが、物資輸送に貢献した仲士たちの役割を決して忘れてはならないと思います。(牧田)

編集後記

企業や家庭においても引き続き節電に努力しているなか、東日本大震災から半年が経過しました。世界中の国々で今ほど電力、特に原発について考えさせられたことは過去になかったことでしょう。

震災による原発事故、電力不足への不安、一部地域での計画停電の実施、天気予報と併せて電気予報という単語まで発生しました。

エジソンが電球を発明したのが1879年。それから132年後の現在、電気を如何にして発電するか、そして1人ひとりが如何にして節電するかまでは、偉大な発明家も予想していなかったでしょう。

脱原発といっても簡単には結論が出ないでしょう。ただ、原子力発電所を数多く抱える福井県民として電力というテーマについて、今一度考える機会ではないでしょうか。(杉本)

編集・発行責任者

議長 向山 信博

市議会広報編集特別委員会

委員長 笹原 幸信

副委員長 牧田 孝一

委員 吉田 洋

委員 杉本 隆洋

委員 山本 知郎

委員 坪川 正武

委員 山田 ひろみ

発行 あわら市議会 編集 あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、紙面作りを目指しています。ご意見、ご感想をお待ちしております。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市役所議会事務局  
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp

